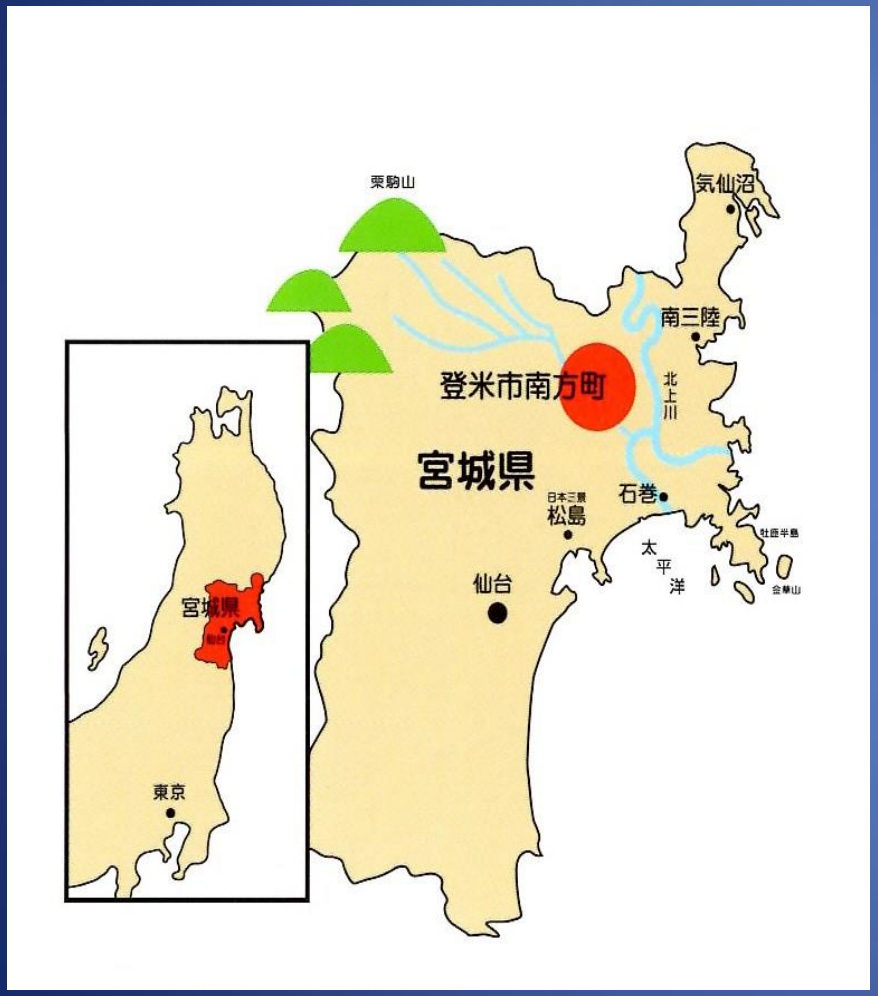
南方町水稲部会

宮城県登米市南方町

南方町水稲部会の概要



私たちの住む登米市南方町は、宮城県北部に位置し、肥沃な耕地と稲作に適した気候風土に恵まれています。

○　会員数　123名

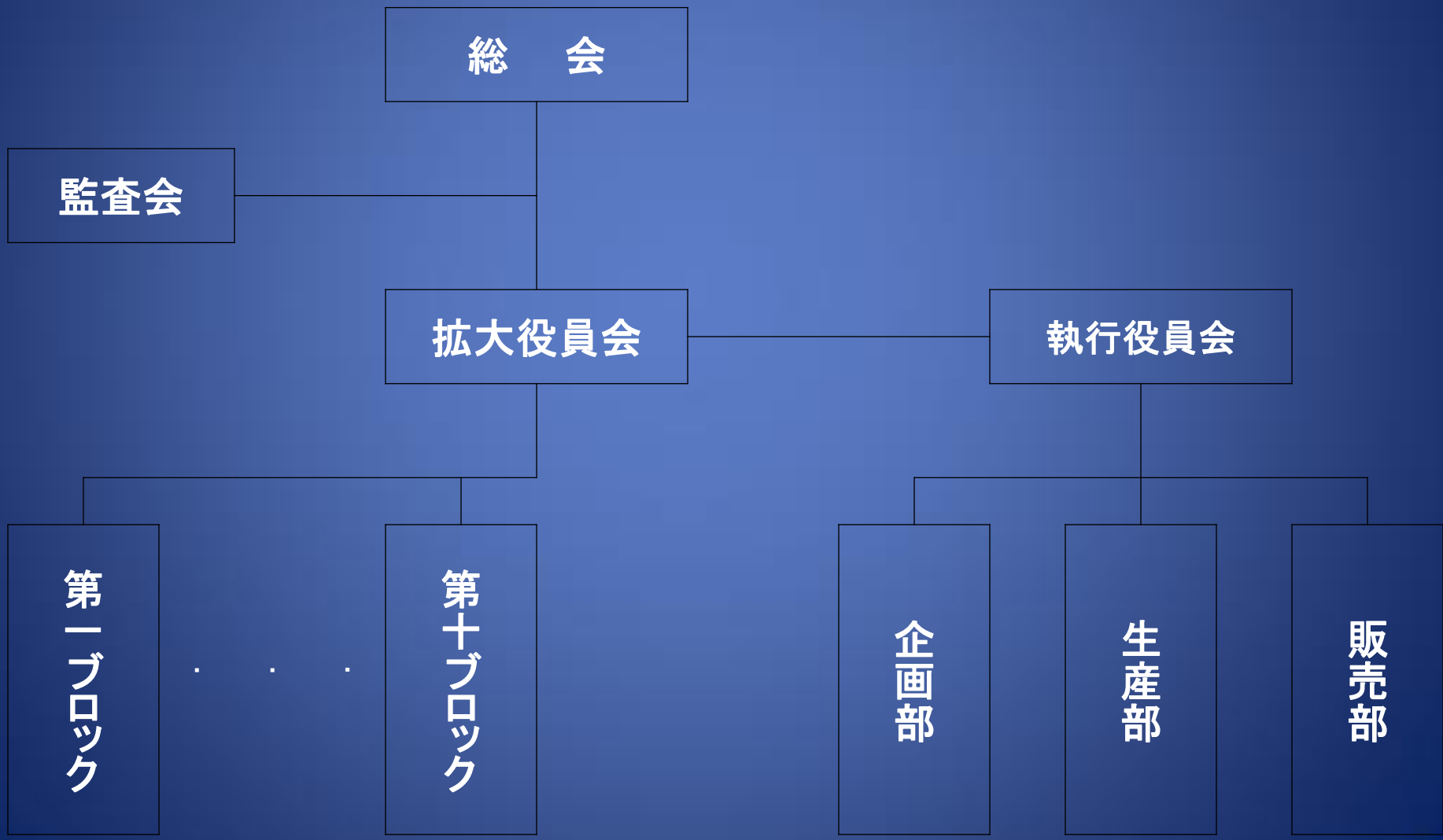
○　総作付面積　約414ha

JAS有機	78ha
無農薬	32ha
省農薬	278ha
減農薬	26ha

南方町水稲部会

2013. 8.1現在

［　組織機構図　］



拡大役員会

- アメンボキッズ
- 北のホタル
- はったぎ
- げんごろう
- うぐいす
- ギンヤンマ
- ミズスマシ
- どぜう
- 赤とんぼ
- めだか

※各ブロックには、ブロック長：1名、生き物調査隊長：1名の役員を置いている

南方町水稲部会生物多様性戦略

実施事項

- ○　生き物調査の取り組み
- ○　冬みずたんぼの取り組み
- ○　水田魚道の設置
- ○　ビオトープの設置
- ○　情報の発信
- ○　めだかの学校プロジェクト

生き物調査

年　２　回　の　実　施

生き物調査

SUZUKI

冬みずたんぼ

登米市には伊豆沼・内沼と蕪栗沼の
ラムサール登録湿地があります。

私たちは命をつなぐ
「農」を目指します
冬みず田んぼ
生物多様性戦略地域 南方町水稲部会
「おだかのお米」ブランド
環境保全米

水田魚道の設置

総延長日本一を目指します。

ビオトープの設置

「カメムシ忌避対策」
品種「ベニーロイヤルミント」
JAみやぎ登米有機農業推進協議会

情報の発信

ホバクワ
モツゴ
コクチバス
アメリカザリガニ
A.K.F.C
adidas
10

自然との共生

宮城県登米市南方町産 **環境保全米**

ぬたかのおたより

—メッセージ—
ごはんを一杯食べるとオタマジャクシ35匹、三杯食べると赤とんぼ一匹の生命を田んぼは育みます。
私達は自然に支えられて生かされています。
だからこそ自然を支える「農」を目指し、生命を継ぐしっかりしたお米を作ります！
しかしもっとも大事なことは、そのお米をあなたに食べ続けていただく事です。

春
緑のジュータン、若苗は大地に根づく。

夏
灼熱の太陽の下で一粒一粒に稲の花が開く。

秋
黄金のジュータン、命の実を結ぶ。

冬
雪におおわれ来年の為にひと休み。

ごはん 1杯 ＝ 米粒 3000〜4000粒 ＝ 3株 ＝ 田んぼの生物（オタマジャクシ等）

宮城県登米市の伊豆沼はラムサール条約指定登録湿地です。

南方町水稲部会の活動

消費者の皆さん、体験交流会

草取り、頑張るアイガモ隊

飢餓に苦しむ子供達へ。アフリカ、マリ共和国へ支援米田植

命を支えるお米づくり

環境と共生する、お米づくりの一年。

3月

農薬を使わない種モミ消毒（病虫予防）。60℃のお湯に10分間浸し殺菌する。

4月

育苗（プール育苗）。病気から苗を守り丈夫な苗をつくる。ハウスに水を張り水の中で苗を育てる。

4月

耕起から田植し、米づくり最上づくり。田んぼ（1ヘクタール）に10a当りＹ（窒）が投入。

5月

苗代田を流水で、湛水にして田植。丈夫に育てるため。（1株3〜5本植）

6月

除草剤を極力使用しない米づくりをしています。機械除草やアイガモによる草取りです。

9月

稲刈り。適期刈取りでおいしいお米になる。

10月

おいしいお米のできあがり。

渡り鳥の飛来、田んぼは鳥達の楽園に

宮城県登米市の伊豆沼はラムサール条約指定登録湿地です。

宮城県登米市南方町水稲部会・もっこり大地の恵振興協議会

宮城県
登米市みなみかたまち産
みなみかたのおたより®
もっこり
みなみかた
南方町水稲部会HP
URL http://tome-agri-movie.net/agri-group/minamikata/
10kg
＝生命を育む田んぼ物語り＝
宮城県登米市
南方町生物多様性戦略
みなみかたのおたより
米
プロジェクト

環境保全米出前講座の実施

- 職能教育の推進のために、登米市と連携して仙台市内10の小学校で学習の機会を提供し、食と農の理解に努めています。
- 平成24年度出向先学校名

○ 木町通り小学校　○ 東仙台小学校
○ 片平丁小学校　○ 南光台小学校
○ 宮城野小学校　○ 将監西小学校
○ 桜丘小学校　○ 連坊小路小学校
○ 上杉山通小学校　○ 旭丘小学校

以上　計10校　延べ879名（対象：4・5年生）

めだかの学校プロジェクト

私たちは「めだか」をシンボルとした命を育む多様な生き物との共生を目指します。